NPO法人　長寿社会支援協会

まごころだより高松

第140号

2017年夏号
平成29年7月1日発行

発行所　まごころケアサービス 高松センター
〒761-8052　高松市松並町802番地1　TEL 087-865-8001　FAX 087-865-8039　E-mail magokoro@hyper.ocn.ne.jp　URL http://cho-jyu.info/
印刷所　株式会社成光社　〒760-0065　香川県高松市朝日町5-14-2　TEL/087-823-0222

旭山動物園の白いフクロウ

白い恋人パーク

事務所のサボテン

ありがとうございました

NPO法人長寿社会支援協会
監事　森　ちさ子

九十歳を越えるご夫婦の元に週2回ほど要支援で伺わせていただいています。

最初にかわす朝の挨拶に笑顔で接していただき、逆に力を頂いています。ご夫婦の声の調子、表情で健康状態を伺い知ることもできます。

平成十二年に介護保険制度ができ、近年その制度も年々改正され利用者の方にとっては厳しいものになってきました。

介護保険では担えない部分は、まごころサービスを活用されています。香老研を母体として平成元年に日本ケアシステム協会が設立、全国でインターネット化され、まごころケア・サービスとして発足しました。

『自分のことは何とか出来るけど、これらの制度のおかげで、皆さんの援助を受けられ自宅で生活が出来て有難い・・・』と笑顔で話してくださいます。

昭和五七年に立ち上げた香川県老人福祉問題研究会の先人たちも次々と亡くなられ、四月には乃村正男さんが、逝去されました。

利用者さん達にまごころサービスを提供し、喜んでいただけるよう努力する事はもちろん、先人達への感謝の念と、ご冥福を心より祈らずにはいられません。

● 目次 ●

●ありがとうございました …… 1
●平成二十九年度通常総会報告 …… 2
平成二十八年度事業報告の概要 …… 2
平成二十九年度事業計画（案） …… 2
定款変更について …… 2
役員改選について …… 3
●各部会だより
研修部 …… 3
まごころサービス …… 3
居宅支援事業所 …… 3
まごころ長尾 …… 3
まごころ寒川 …… 4
介護保険事業所 …… 4
●新入会員 …… 4
●編集後記 …… 4

平成二十九年度通常総会報告

五月二十七日（土）に平成二十九年度通常総会が開催された。

兼間会長を議長に、議事録署名人に財前登美子、岡内晴美の両氏が選出され議事にはいる。

事務局より第一号議案の平成二十八年度事業報告および第二号議案の事業活動決算報告があり、全員異議なく承認された。

次いで第三号議案の平成二十九年度事業計画および第四号議案の平成二十九年度事業活動予算案および第五号議案定款変更、第六号議案役員の変更が全員異議なく承認されました。

平成二十八年度事業報告の概要

少子高齢化が急速に進行する中、人が最後まで充実した生活を送るためには、地域も住民参加による助け合い活動が必要です。介護保険法の改正により国は「総合事業」構想を発表しました。要支援者軽度の方たちはお互い様の精神で地域において助け合うシステムです。平成二十九年度末までに全ての市町村で実施することとされており、当協会でも平成二十八年十月に訪問型サービスAの指定を受け開始しています。

また、信頼度の高い認定NPO法人の資格を得るように取り組み、平成二十八年四月十九日付けで香川県から仮認定の通知がありました。今後、所定の実績が認められると認定の資格が得られます。皆様のご理解とご協力により実現に向けて進めたいと考えています。

平成二十九年度事業計画（案）

当協会は設立以来、住民が連携して様々な相互の援助活動が可能な地域社会の実現を目指して努力してまいりました。本年度も会員皆様のご協力とご支援のもと関係諸団体と連携して、より地域社会の福祉に貢献できるよう以下の活動を推進してまいります。

一、福祉啓発活動と学習会

- 日本ケアシステム協会全国大会への参加

平成二十九年度の日本ケアシステム協会第二十五回全国大会は、北海道旭川市において旭川センターが当番センターとして平成二十九年五月二十日に開催されました。

- NPO中間支援総合センターとの連携
- 長寿社会支援協会の認定NPO法人資格取得に向けて
- 生活困窮者支援相談事業を高松市東田町において開始します

二、情報誌「まごころだより高松」を年四回、各回千百部印刷

三、職業訓練業務委託にかかる緊急再就職促進訓練事業

四、研修・講習会等事業

五、高齢者等住宅・まごころハウス

六、一般乗用旅客自動運送事業

七、まごころケアサービス（在宅福祉支援事業）

八、介護保険事業・障害福祉サービス事業

- 居宅介護支援事業
- 訪問介護事業・介護予防・総合事業・障がい者福祉サービス事業

定款変更について

平成二十九年四月の特定非営利活動促進法の改正により、NPO法人に対して、毎事業年度終了後法人自らが貸借対照表を公告する義務が課せられます。

その際の公告の方法をあらかじめ定款で定めておく必要があることから、当法人の定款第五十四条を改正するものです。

なお、この法改正によりこれまで、毎事業年度終了後、法務局に対して行っていた「資産の総額」の登記が不要となります。

変更後の定款第五十四条

本会の広告は、本会の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。ただし、法第二十八条の二第一項に規定する賃借対照表の広告については、本会の主たる事務所の掲示場に掲示して行う。

役員改選について

乃村正男理事の後任として、新たに大路初美氏が理事として選任されました。

現役員一覧（五十音順）

理事　大路　初美（新任）
理事　兼間　達郎
理事　兼間　道子
理事　木村　幸博
理事　清水　勇三
理事　佃　昌道
監事　小笠原　稔
監事　森　ちさ子

各部会だより

研修部

長寿社会支援協会では、第七十七期地域福祉推進セミナー・介護職員初任者研修（通学）を開講します。

期間は平成二十九年六月三十日から九月二十二日までの三ヶ月間です。原則として、毎週火曜日、金曜日で実施します。

一人でも多くの有資格者を増やそうと継続した取り組みを続けています。

まごころサービス

今年の夏は、チョー猛暑と言われ今から覚悟をしています。

この仕事をしていて本当に思うのは、人として話をする中で、どう受けとめるか？どう聞くか？一つの言葉の解釈の仕方、本当に難しいです。

その人の気持ちになって聞く事で、相手も話をする事で気分が変わる、自分もそうだと感じました。自分の話を聞いてもらう事も大事ですが、もっともっとその人を知るには、コミュニケーションは大事だと思いました。

居宅支援事業所

うちのサーちゃん

サーちゃん　八十二歳　女性（アルツハイマー型認知症と診断）

七十五歳の頃「私の通帳を返して！帰り道がわからなくて徳島方面に向いてバイクを走らせていたわ！」などと、変な事を言うようになった為、通院をすすめましたが、行く気配がなく4ヶ月が経ちました。

五月に入り嫁がなだめすかし連れて行き、先生から告げられたのが「アルツハイマー型認知症、中期です。元気なのは、十年位でしょう。家族が思い残す事が無いよう看てあげてください」と言われ、私は、頭が真っ白になり夫と義理の姉に電話をしたのだけは覚えています。

サーちゃんは現役で店主をしており、引き継ぎなどでいろいろありましたが、なんとかその年の十月末で店を閉める事ができました。

嫁はデイサービスに行ってもらってと簡単に考えていました。しかしハードルは高く

サーちゃんは「デイサービスには行きません。幼稚園児が折り紙するような所ですよ、行きませんよ」

嫁は「行って下さい、お願いします」との押し問答が、一ヶ月ほど続きましたが、それでも行く気配が無いので、一緒に見学に行きました。見学するとサーちゃんの心が少し動き「行ってもいいわ」と言い週二回位から始めました。しかし休んだり行ったり、迎えに来ても着替えていなく休むこともありましたが、今では習慣になり週五回利用するまでになりました。

まごころ長尾（長寿閣）

私が長寿閣で、仕事をさせていただくようになってから、十年がこようとしています。

自分が入居者様と年が変わりなくなって良き話し相手になれるようになったと思う。

Kさんも、今では少し落着いて、お庭の散歩ぐらいは、一緒にできるようになりました。

庭には、あじさいの花が咲いている。秋になると、庭のもみじが紅葉する。これからも、身体に気をつけて、仕事をしていこうと思います。

よろしくお願いします。

まごころ寒川（あかりの里）

利用者様と絆

さぬき市の静かな山間に、防火設備も整い一部リニューアルした施設においてはや三年、見ず知らずの利用者様と職員たちが、寄り添っての数年が過ぎようとしている。

ちぐはぐな違和感を、感じながらの生活の始まりだったが、やっとお互い分かり合える様になって来た近頃です。

何も云わずに黙って職員達を見て来ているが、少しは自分の役割分担を理解できそれぞれが、寄り添いながら動きかけてきたようです。それに、連動して利用者様たちもこの環境の中で、ゆっくりと自分の身のおき場所を、見つけられたようです。私たちも利用者様がいてこその我々だから。

静に穏やかに日々を送っていただければ、ありがたい事かなと思っています。其の為の努力を惜しまないよう心に刻んで行きたいとあらためて思うものです。

利用者様たちを見ていると、年齢を重ね相方を失い一人ひとりになり、他の利用者様たちと生活を共に送ってゆくうちいつの間にか「絆」と言う言葉が生まれてきているようです。

親子の絆、夫婦の絆、兄弟の絆等、現代は段々と薄れてきているように感じられるのは私だけだろうか。

聞いた話だが本来は「絆」とは牛や馬をつないでおく紐の事だそうです。人間が紐を引っ張り牛をリードして居たことを云うのだそうです。しかし現代は個々が主流の流れの様だが。

しかし我が施設では天から生かされている命を　最大限活用させてあげたいものだ。

介護保険事業所

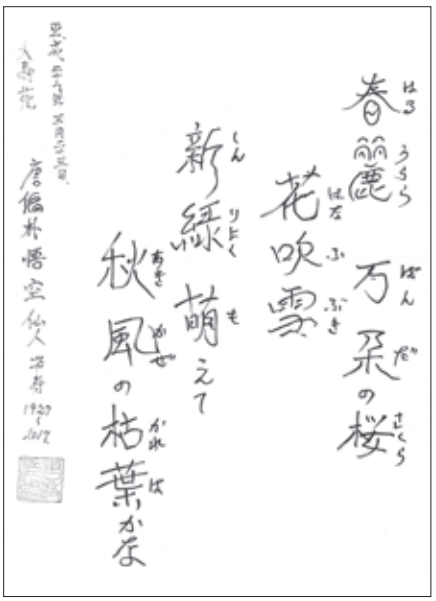
熱中症予防

※こまめに水分補給！

※早目の気づきで予防

・頭痛、めまい、吐き気

・嘔吐、気分悪い等…。



大寿苑花見

平成 29 年 4 月 8 日

唐渡　義一

90 歳　2017.3.23

まごころハウス

毎週火曜日 10 ～ 12 時　皆さんのお越しを待ってます。

長寿社会支援協会では事務所東側に気軽に集える居場所「まごころハウス」を開設しています。現在十名程の方がコーヒーやお茶を飲みながら談笑したり、また時には近くの小学生の社会見学があったりと皆さん楽しいひと時を過ごしています。

今後、たくさんの方にご利用いただき楽しい居場所「まごころハウス」にしたいと想っています。

新入会員

11223	長野ヒデ子
11224	佐々木昌代
11225	石川　啓世
11226	川口　芳宏
11227	山内ツヤ子
11228	宮武　和子
11229	香西　清隆

編集後記

四月に親しくしていた人が、すい臓がんで七二歳で亡くなられた。癌の告知をされて一〇か月経っていました。九か月間は抗がん剤の治療を受けながら自宅でそれまでと変わらない生活をしていました。

九か月経て、入院になりました。私も二日から三日に一度、庭に咲いている花を持って、お見舞いに行くと、とても喜んで頂き、待っていてくださいました。

とても気丈な人で、癌であることを公言し、東京に住んでいる一人息子が一緒に住もうと言ってくれたが、住み慣れた高松が良いと言って、一人で、隣近所等と仲良く生活され、趣味の書道・大人の塗り絵等がんばっていました。息子さんへの引き継ぎもすでに済ませているとおっしゃっていました。生きている人に、故人が病・死を身を持って教えていただきました。私も見習いたいとつくづく思いました。

（宮脇）